

犠牲陽極材 — 鉄筋防錆型 (マクロセル対応)

概要

「ガルバシールド XP」は、亜鉛が特殊モルタルに包まれた形状のガルバシールド工法の犠牲陽極材です。塩害、中性化などによるコンクリート劣化時に電気化学的に鉄筋防錆を行います。また補修部と未補修部に生じる鉄筋の電位差によるマクロセル腐食を抑制します。

用途

■コンクリート構造物全般（断面修復部）

特長

■特許技術 第 3099830 号

■マクロセル防止

補修部と未補修部に生じる鉄筋の電位差により加速度的に鉄筋腐食が進行するマクロセルを防止します。

■経済性

マクロセルによる再劣化防止により、ライフサイクルコストの低減を計れます。

■多彩な用途

塩害、中性化に関わらず、RC、PC、ポストテンション構造物に適用できます。

■施工性

迅速かつ簡単な設置です。

■メンテナンスフリー

外部電源&モニタリングは不要です。

■耐用年数 約 15 年

耐用年数は腐食環境により前後することがあります。

仕様

■適用範囲

防食レベル		定義	XP
小	鉄筋防錆 (マクロセル)	新しい腐食の発生を防ぐ	○
	腐食抑制 (保全部)	進行中の腐食を抑制する	×
大	電気防食	進行中の腐食を止める	×

■外観



Φ64×27mm

■防食性能

XP < CC < XP2 < XP4 < DAS

■設置間隔表

「ガルバシールド XP」の設置間隔は、対象部の鉄筋表面積とコンクリート表面積の割合により変化します。

※有効半径は、設置間隔/1.5 です。

※塩分濃度>0.8%（セメント比）はお問い合わせ下さい。

< 断面修復部への適用（鉄筋防錆、マクロセル） >

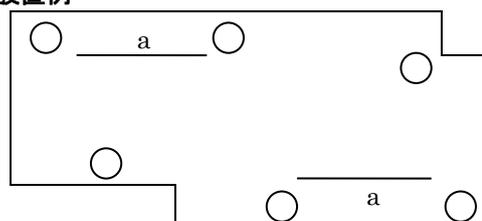
1m ² 当りの鉄筋比率	XP 最大設置間隔
<0.3	750mm
0.31-0.6	610mm
0.61-0.9	500mm
0.91-1.2	430mm

■ガルバシールド工法関連材料

- ・レンダロックモルタルまたはグラウト
- ・ナイトボンド AR（プライマー）
- ・ナイトボンド RC（仕上げ材）

※ 断面修復には、比抵抗及びガルバシールド防食性能（有効範囲）確認済みのレンダロックモルタルもしくはレンダロックグラウトで行います。

■設置例

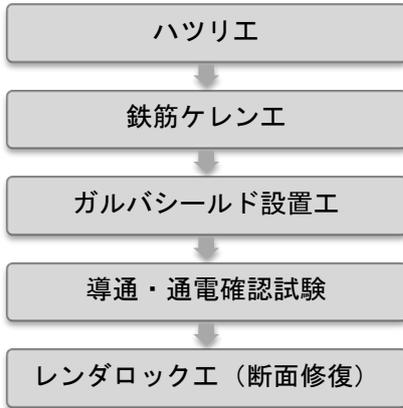


○ : ガルバシールド XP

a : 最大設置間隔

施工手順

■ 施工フロー



■ 施工手順

- ① ハツリエ
 - ・ 鉄筋の周辺、及び鉄筋裏側までコンクリートを完全にハツリ取って下さい。
- ② 鉄筋ケレン工
 - ・ 鉄筋表面の錆び等をサンダー、サンドブラスト、ワイヤーブラシ等で除去して下さい。
 - ・ 特に「ガルバシールド XP」を結束する箇所は金属光沢が出るまでケレンを行って下さい。
- ③ 設置工
 - ・ 「ガルバシールド XP」のワイヤーと鉄筋を密着させ動かないように完全に固定して下さい。
 - ・ 「ガルバシールド XP」とコンクリート表面までは必ず 20mm 以上のカブリを取って下さい。
- ④ 導通・通電確認試験
 - ・ マルチメーターにて、「ガルバシールド XP」のワイヤーと鉄筋の電気抵抗が 1.0Ω 以下であることを必ず確認して下さい。
- ⑤ 断面修復工
 - ・ 弊社断面修復材「レンダロックモルタル」にて断面修復を必ず行って下さい。
 - ・ 弊社指定外の断面修復材を使用しますと、設置間隔や有効半径等の期待される効果が十分に発揮できない事があります。

安全衛生上の注意事項

- ・ 目や皮膚に付着しないようにゴーグル、ゴム手袋等を着用して下さい。
- ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合には直ちに清潔な水、石鹼等で洗浄して下さい。

荷姿及び保管

20 個／箱

未開封、乾燥した場所に保管して 12 ヶ月。

CREDESCENCE

クリディエンス株式会社

ベクター日本総代理店

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-3-3F

TEL: 03-4590-0200 FAX: 03-3409-3898

URL: <http://www.crdc.co.jp> E-mail: crdc@crdc.co.jp



製造元：

Vector Corrosion Technologies

改定日：2011 年 1 月

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は